

# 校 内 研 究

## 1 研究主題

### 伝え合う力を育てる授業研究

～少人数の特性を生かし学びが生まれる授業づくり～

## 2 主題設定の理由

学習指導要領では、基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育むことが求められている。本校では、平成24年度から「学びの共同体」の理念をもとに研修を重ね、日々の授業に取り組んできた。その結果、児童同士で教え合う姿が自然に見られるようになり、授業へ積極的に参加する態度が養われてきた。

また、小規模校の特性を生かした個別指導やはげみ学習、集合学習等を充実させ、授業改善や補習指導で学力向上を図ってきた。しかし、全国学力・学習状況調査やWeb実力テスト等で国語・算数の活用問題が、まだ課題となっており、学力の個人差も見られるようになってきた。このことから「すべての子どもに学習を保障する」ためには、指導方法の工夫・改善を図らねばならない。

そこで、活用問題への対応力をつけるためには、まず、自分の考えを持ち、分かりやすく説明する能力が求められる。そこで、複式学級の特性を取り入れた「学び合い」の学習を通して、自らの考えを持ち、表現して終わるのではなく、さらに「伝え合う」ということに意識を高めて指導をしていく。学習指導要領において「伝え合う力」とは、「人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語を通して適切に表現したり正確に理解したりする力である」と示されている。「伝え合う力」を高めることは、他人とともに協調することのできる豊かな人間性を育成し、「生きる力」を育むことにつながると思う。伝え合うためには、話す、聞く、書く、読むという4つの言語能力が必要である。中でも、話すこと・聞くことは、もっとも日常的な活動であり、豊かな人間性の育成に深く関わると考える。一方的に自己を表現して終わるということではなく、相手が理解したのか、何が分からないのか等、相手を意識することなしでは成立しない。相互理解を深めるための伝え合う力を高めていくことにより、自分の思いや考えを出し合い、力を合わせて学び合っていく児童に育っていくであろう。「分かった」「分かってもらえた」を実感させることで、学びの充実感を高め、学習意欲の向上、さらには学力の向上につながる。そのために「学びの共同体」の理念を全職員で理解し、それに基づいた授業実践を進めるため、本主題を設定した。

## 3 研究仮説

お互いの考えたことを伝え合う、聴き合う、かかわり合う活動を通して「互いに学び合う」ことで、児童一人一人に「分かった」「分かってもらえた」等の成就感・達成感を味わわせることにより、自信を持って自分の考えを伝えたいという意欲が高まり、積極的な学習参加が促され学力が向上するであろう。

## 4 研究の方針

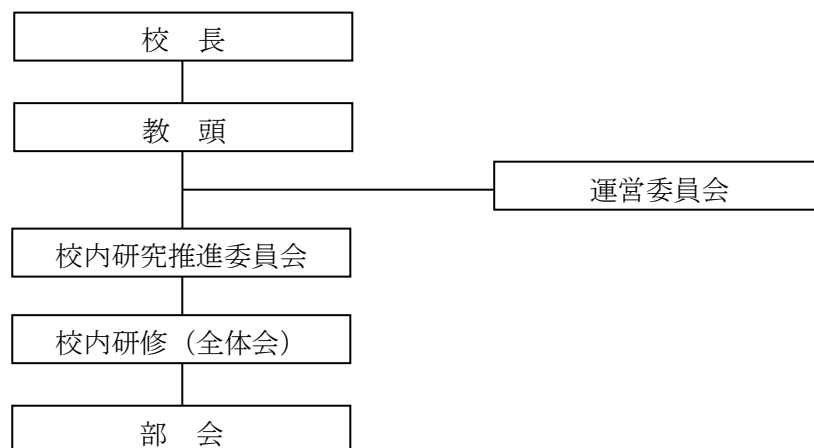
- (1) 学校教育目標の具現化のため、校内研修と学力向上推進を一体的に捉え、組織的・計画的に研究活動を推進する。
- (2) 全職員の共通理解のもとに研究を進める。
- (3) 学校・学級・児童の実態に対応して理論研究及び授業実践を重ね、子どもの可能性を拓く授業を追究していく。
- (4) 「学びの共同体」を推進するため、村教育委員会の指導主事を招聘しての授業研究会を持つ。
- (5) 校内研修日は原則として毎月第四火曜日とする。授業研究日は原則日に限らない。
- (6) 同僚性と授業の質を高めるために、授業参観者は、必ずアドバイスや授業における参観者の気づきを話すようにする。
- (7) 研究授業は、国頭教育事務所の指定の指導案形式を使い、一人一授業を実施する。
- (8) 日頃の研究授業は、村教育委員会指定の授業デザインシートを活用し、実践する。
- (9) 校内研修は研究テーマ設定による研修、及び教育課題に対する職員の見識を高める研修を実施する。
- (10) 各学年・学級に応じた手立てを考え、「伝え合う力を育てる」授業づくりを研究する。

## 5 研究の内容

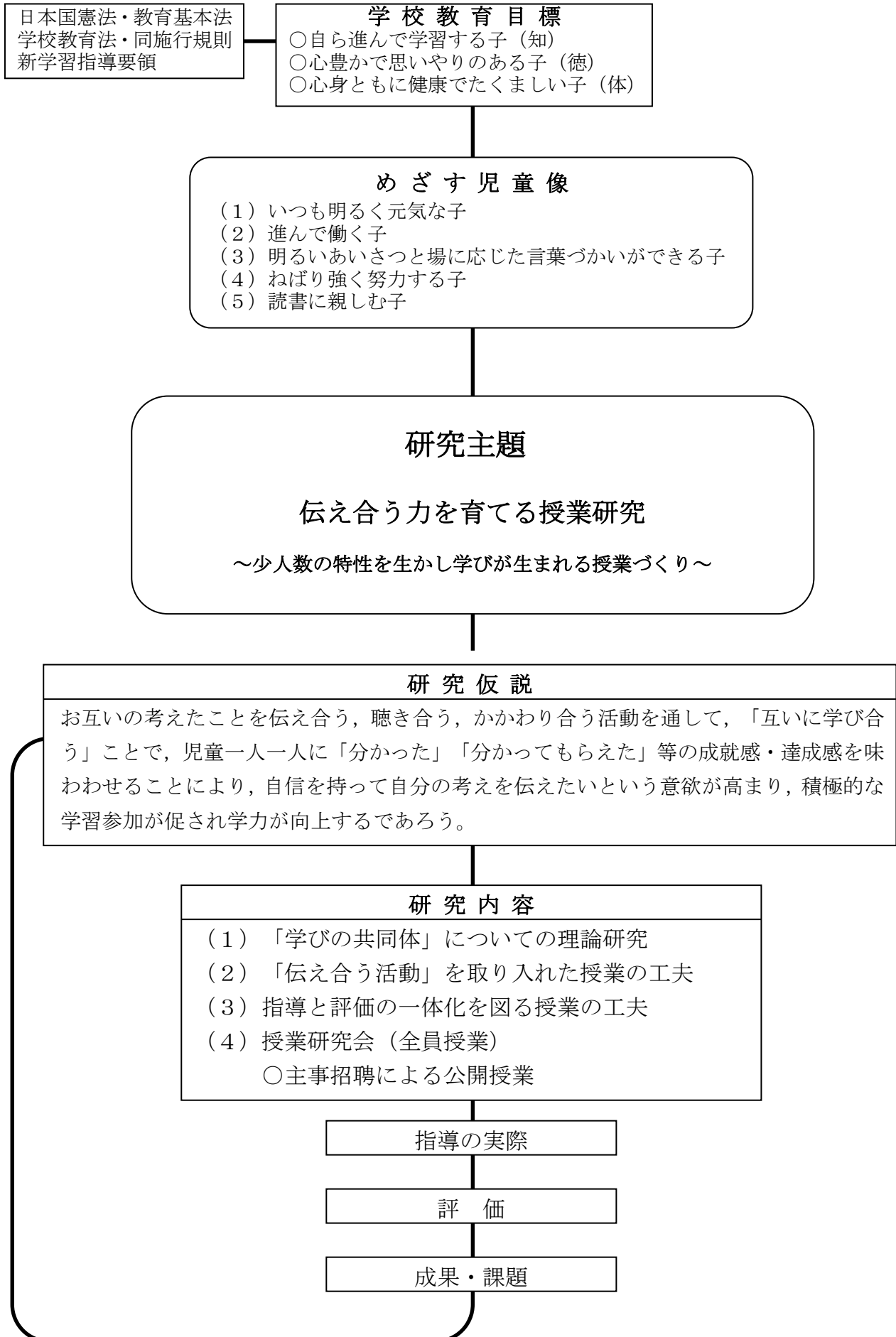
- (1) 「学びの共同体」についての理論研究
- (2) 「伝え合う活動」を取り入れた授業の工夫
- (3) 指導と評価の一体化を図る授業の工夫
- (4) 授業研究会（全員授業）

○主事招聘による公開授業

## 6 研究組織



## 7 研究構想図



## 研究年間計画 (平成 29 年 5 月 8 日現在)

月	日	曜	研究及び研修内容	要請指導主事及び講師
4	4	火	校内研テーマ・内容・年間計画の確認 サービス・人権ガイドブック	
	5	水	村内新任赴任教職員研修会「学びの共同体」	講師 安波小校長 宮城尚史
	25	火	校内研 (特別支援)	
5	16	火	校内研 (6年 算数 出前授業 6校時)	授業者 安波小校長 宮城尚史
	23	火	全国学力・学習状況調査 (問題の分析)	
	24	水	村内研修会 ( )	
	30	火	校内研 (授業作り)	
6	6	火	校内授業研究会 ( 4. 5年 国語 )	主事招聘 玉城史江 (事務所)
	20	火	村内研修 (午後)	
	27	火	校内授業研究会 ( 4年 社会 )	主事招聘 千葉康成 (委員会)
7	24	月	夏休み校内研 (ゆいセミナー)「学びの共同体」	※24・25・26 のどちらかで
	25	火	夏休み校内研 (外国語 外国語活動)	研修伝達
	26	水	夏休み校内研 (へき地教育)	県立総合教育センター
9	26	火	校内授業研究会 ( 6年 算数 )	主事招聘 千葉康成 (委員会)
10	24	火	校内研 (道徳) ※指導計画確認	道徳推進教諭
12	5	火	校内授業研究会 ( 1, 2年 道徳 )	主事招聘 前川恒久 (事務所)
	13日(水)～20日(水) 校内研修の成果と課題についての回答期間			
	26	火	校内研修の成果と課題についてのまとめ 研究集録作成について	
12/27日(水)～1/22日(月) 研究集録用資料作成期間				
1	23	火	研究集録原稿提出締切	
1/24日(水)～2/20日(月) 研究集録印刷・製本				
2	28	水	研究集録で確認 (研究方針・次年度の校内研修)	

終了後、リフレクションの時間も設けます。

※授業者の中で一人は、道徳を受け持つ。授業研究会 (指導助言等) の中で道徳についての研修を深める。

※特別支援と1・2年は、TTで授業をする。